

一五

勅授

丙
天四
二七

立案 昭和 年 月 日
決裁 昭和 年 月 日

爵位課長

宗秩寮總裁

宮内事務官

故海軍少將吉川潔位階追陞ノ件

昭和九
四年四月
四日
日裁可
十一月廿四日
達
日官報報告済

辭令
昭和十八年
四月八日

裏面白紙

109



故海軍少將吉川潔位階追陞ノ件
右謹テ裁可ヲ仰ク

昭和十九年四月四日

内閣總理大臣東條英機



内閣

裏面白紙

人海第三七五號

起案 昭和十九年三月三十一日

裁可 昭和十九年四月四日 施行

昭和 年 月 日

内閣總理大臣



内閣書記官長

之

内閣書記官



故海軍少將吉川潔位階追陞件

辭令案

列文

昭和十八年十月二十四日付

内閣

内閣八法位第一五五

敍從四位 昭和十八年十一月二十四日死亡 故海軍少將 正五位 吉川 潔

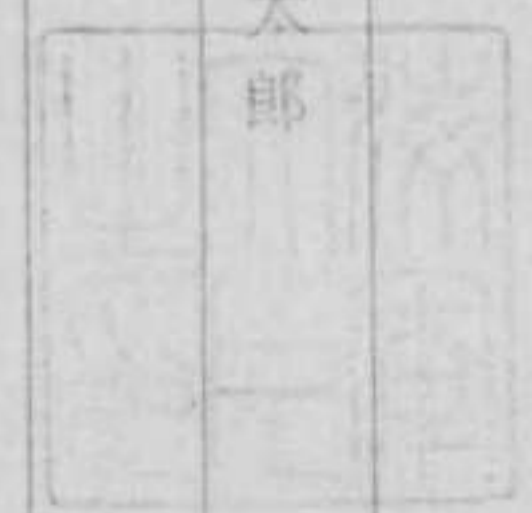
大正十二年九月二十日任海軍少尉以來在職十年以上

右文武官敍位進階内則第四條ノ二ニ依リ

謹テ 奏ス

昭和十九年三月三十日

海軍大臣 鳴田 繁太郎



海軍

四十六
三十一
三十一

132

官報
不登載

海秘人第 六一九 號

昭和十九年三月三十日

海軍大臣 嶋田 繁太郎



内閣總理大臣 東條 英機 殿

故海軍少將吉川 潔ハ多年軍職ニ在リテ克ク其ノ任務ヲ
盡シ功績顯著ノ者ニ候處ソロモン諸島方面ニ於テ作戦從
事申昭和十八年十一月二十四日戦死候ニ付テハ特ニ位一
級被追陞度別紙上奏書進達ス

海軍

(終)

19.3.31
付受

133

丙發第九三號

特旨ヲ以テ位一級追陞セララル

昭和十九年四月八日

海軍少將 正五位 吉川 潔

正五位 吉川 潔

敍從四位

昭和十八年十一月二十四日

右之通 宣下相成候條此旨及傳達候位記竝辭
令ハ追テ可及回送候也

昭和十九年四月八日

宗秩寮總裁子爵武者小路公共

海軍大臣嶋田繁太郎 殿

宮内省

裏面白紙

二號野紙

134

丙 奏 第三五九一號

一 故海軍少將從四位吉川 潔

右位記竝辭令及回送候條交付方御取^計有之度候也

昭和十九年九月二十八日

宗秩寮總裁子爵 武者小路公共

海軍大臣 米内光政 殿

海勅人支六一九号

二號 昇紙

175

裏面白紙

宮内省